

「環境管理計画」 平成27年度取組状況一覧

■ 環境と人・地域社会

(1) 人と環境とのきずなづくり

頁	主な取組	目標	27年度の取組実績
30	① 身近な自然環境の広報	・推進	・知ろう！伝えよう！生きもののつながりキャンペーン2015の開催
30	② 多岐にわたる分野とのコラボレーションの推進【生物多様性に再掲】	・推進	・スポーツチームと協力した環境活動に関する普及啓発 ・他分野が行うイベント等の後援等
30	③ 「横浜つながりの森」におけるエコツーリズム【環境と経済、生物多様性に再掲】	・推進	・各主要施設におけるPR ・ハイキングルートのルール・マナー検討

(2) 企業の環境行動

30	① 企業の環境行動の広報【生物多様性に再掲】	・推進	・横浜環境活動賞で8企業を表彰 ・受賞企業の取組の広報実施
30	② 企業とのコミュニケーション	・推進	・取組推進のためのパンフレットのWeb掲載、講演 ・横浜市環境保全協議会および横浜商工会議所、国連WFP協会と連携し、「こども『エコ活』大作戦！2015」を実施

(3) 環境活動のネットワークづくり

31	① 環境行動の実践に向けた広報・啓発【生物多様性に再掲】	・毎年実施	・知ろう！伝えよう！生きもののつながりキャンペーン2015の開催	
31	② 連携・交流のプラットフォームづくり【生物多様性に再掲】	・推進	・業務研究・改善事例発表会にて周知	
31	③ 活動団体への支援【生物多様性に再掲】	・推進	・1団体、76千円の助成金交付 ・17個人・団体・企業の横浜環境活動賞表彰	
31	④ 愛護会などの支援【生活環境に再掲】	・公園愛護会の活動支援	2457団体	・2450団体(累計)
		・ハマロードサポーターの活動支援	495団体	・423団体(累計)
		・水辺愛護会の活動距離	60.198m	・59,418m(累計)
31	⑤ 地域での環境行動の推進	・推進	・推進	

(4) 「学び」の輪づくり

32	① ヨコハマ・エコ・スクール(YES)の展開【地球温暖化対策に再掲】	・YESの講座開催(認定)	250回/年	・395回/年、参加者数約36270人
32	② 生物多様性でYES!【生物多様性に再掲】	・参加者数	10500人/年	・8895人/年
32	③ 「エコ活。」の推進【地球温暖化対策に再掲】	・参加児童数	32000人/年	・37595人/年
		・エネルギーやCO ₂ の見える化の推進		・市ホームページを利用した環境家計簿の普及啓発
32	④ 自然体験活動の推進	・推進		・市民団体と連携した青少年向け自然社会体験プログラムや自然・社会資源等を活用した体験プログラム実施
32	⑤ 環境教育に先進的に取り組む学校への支援	・推進		・累計64校支援
32	⑥ 動物園等における環境教育【生物多様性に再掲】	・環境教育事業数	330件	・374件/年

(5) 横浜市役所環境行動宣言による取組の推進

33	① 横浜市環境マネジメントシステムの推進【地球温暖化対策に再掲】	・推進	・環境行動目標の策定 ・総合環境研修、内部監査の実施
----	----------------------------------	-----	-------------------------------

■ 環境と経済

(1) 環境分野における需要の創出を通じたビジネスチャンスの拡大

頁	主な取組	目標	27年度の取組実績	
37	① 横浜スマートシティプロジェクトの展開【再掲】	・フォーラムの開催 ・海外プロモーション	・YSCPフォーラム開催(6月、160名参加) ・視察対応(計20名参加)	
37	② 住宅用スマートエネルギー設備の普及促進【地球温暖化対策に再掲】	・HEMSなどの導入件数	6000件《4か年》	・401件(累計542件)
37	③ 住まいのエコリノベーションの推進【地球温暖化対策に再掲】	・住まいの横浜型省エネ改修モデルの構築・推進		・28件(戸建住宅18件、共同住宅等10件)実施 ・「よこはまエコリノベーション・アカデミー」開催
37	④ 次世代自動車(FCV等)の普及促進【環境とまちづくり、地球温暖化対策に再掲】	・FCVの普及台数	200台《4か年》	・FCV導入補助実施(10台)
		・水素ステーションの整備数	10か所《4か年》	・固定式水素ステーション補助実施(1か所)
		・公用車・市営バスへの率先導入 ・水素ステーション整備に係る動向調査		・公用車に率先導入(3台) ・水素ステーション導入に対する補助(1か所)
37	⑤ 技術相談事業(省エネ相談)	・技術アドバイザー派遣		・49件派遣(累計125件)

「環境管理計画」 平成27年度取組状況一覧

■環境と経済

(1) 環境分野における需要の創出を通じたビジネスチャンスの拡大

頁	主な取組	目標	27年度の取組実績	
37	⑥ 中小製造業設備投資等助成	・設備投資の促進	・26件助成(累計66件)	
37	⑦ 中小企業融資事業(環境・エネルギー対策資金)	・融資制度の運用	・1件融資、1件保証料助成	
37	⑧ 京浜臨海部エリアの活性化	・推進	・テーマ「環境・エネルギー」の意見交換会開催(3回) ・日産自動車とJ-オイルミルズ間でエネルギー融通開始	
38	⑨ 防犯灯や商店街街路灯などの省エネ対策の推進	・防犯灯のLED化	86%《4か年》	・2032灯を整備し、全体の87.2%をLED化
		・商店街街路灯の高効率化	1000基《4か年》	・312基(累計640基)

(2) 環境分野における市内企業の技術革新(イノベーション) 推進

38	① 横浜グリーンバレーの推進【地球温暖化対策に再掲】	・エネルギーグリッドの構築 ・産業団地の見える化		・エネルギー融通等モデル事業計画策定調査実施 ・エネルギーマネジメントシステムへの参加事業所を募集
38	② 成長発展分野育成支援事業	・助成件数	15件《4か年》	・5件
38	③ 中小企業支援コーディネート事業	・マッチング社数	600社《4か年》	・165件(累計315件)
38	④ 横浜環境ビジネスネットワーク事業	・スマートセルプロジェクトの推進	1プロジェクト《4か年》	・支援実施(平成28年2月末で終了)
38	⑤ 成長産業立地促進助成 ※重点産業立地促進助成から名称変更(H28.4~)	・アプローチ件数	1400件《4か年》	・429件(累計752件)
		・国内外での誘致イベント参加企業数	500社《4か年》	・400社(累計596社)
		・重点産業助成を活用した企業誘致件数	80件《4か年》	・20件(累計40件)
38	⑥ 省エネ住宅の促進と市内企業の事業機会拡大	・推進		・省エネ住宅ビジネスセミナー開催

(3) 地域資源を生かしたシティプロモーションの展開

39	① 「横浜つながりの森」におけるエコツーリズム【環境と人・地域社会、生物多様性に再掲】	・推進		・各主要施設におけるPR ・ハイキングルートのルール・マナー検討
39	② 公民連携による国際技術協力(Y-PORT事業)【再掲】	・都市づくりのアドバイザー ・横浜のシティプロモーション ・市内企業の海外展開支援		・海外都市インフラの推進支援 ・民間企業・国際的な機関との連携協定 ・海外都市との覚書にもとづく技術協力 ・第4回アジアスマートシティ会議開催 ・海外からの視察受入れ(889人)
39	③ 動物園におけるシティプロモーションの展開	・推進		・交通広告、大型イベントや高速道路サービスエリアの観光イベント等でのPR実施
39	④ スマートイルミネーション横浜の開催	・来場者数	24万人/年	・21万6千人/年
		・参加協力団体	42団体/年	・29団体/年

(4) 新興国等での環境対策の支援と環境ビジネスの海外での戦略的展開

40	① 公民連携による国際技術協力(Y-PORT事業)【再掲】	・都市づくりのアドバイザー ・横浜のシティプロモーション ・市内企業の海外展開支援		・海外都市インフラの推進支援 ・民間企業・国際的な機関との連携協定 ・海外都市との覚書にもとづく技術協力 ・第4回アジアスマートシティ会議開催 ・海外からの視察受入れ(889人)
40	② 横浜スマートシティプロジェクトの展開【再掲】	・フォーラムの開催 ・海外プロモーション		・YSCPフォーラム開催(6月、160名参加) ・視察対応(計20名参加)
40	③ 公民連携による海外水ビジネスの国際展開	・市内企業 ・水ビジネス協議会会員企業との連携		・会員企業との合同調査(ベトナム国ハノイ市及びフエ市)
		・国際貢献活動の拠点(北部下水道センター)としての本格供用 ・視察・研修の受入等を通じた本市技術のPR		・水・環境ソリューションハブの拠点整備 ・海外上下水道関係者と会員企業のビジネスマッチングを実施(ベトナム国ハノイ市及びフエ市、アフリカ、イラク、サウジアラビア等)
40	④ 国内外の都市との低炭素連携の推進【地球温暖化対策に再掲】	・九都県市間の情報交換 ・地域間の連携		・九都県市との情報交換及び九都県市の連携による普及啓発活動の展開 ・北海道下川町との連携
		・海外都市との連携		・COP21に向けた都市間会合「Our Cities, Our Climate」に日本で唯一招へい ・OECD「高齢社会における持続可能な都市政策」プロジェクトのケーススタディ都市に選定 ・JICAによる、「バンコク都気候変動マスタープラン(2013-2023年)策定・実施能力向上プロジェクト」に参画
40	⑤ 環境保全技術に関する国際貢献	・横浜上海技術交流の実施 ・海外研修生の受入		・上海市環境保護局6名を受入れ技術交流実施 ・フィリピン国から15名の研修生を受入

「環境管理計画」 平成27年度取組状況一覧

■ 環境と経済

(5) 横浜の特色ある都市農業の推進と先進的生産技術の発信

頁	主な取組	目標	27年度の取組実績
41	① 市民や企業等との連携(地産地消の推進) 【食と農に再掲】	・企業等との連携 50件	・8件(累計20件)
41	② 6次産業化など付加価値を高める取組の推進 【食と農に再掲】	・生産設備等支援 30件《4か年》	・5件支援
41	③ 横浜型次世代植物工場技術の発信	・推進	・販路開拓支援や啓発セミナー実施

■ 環境とまちづくり

(1) 都心部におけるエコまちづくりの推進

頁	主な取組	目標	27年度の取組実績
46	① エキサイトよこはま22における環境取組 【生物多様性に再掲】	・推進	・まちづくりガイドラインを改定しCO ₂ 排出原単位を見直し ・東口再開発予定地区におけるエネルギーの面的利用に関する検討実施
46	② みなとみらい21地区における環境取組の推進 【地球温暖化対策、生物多様性に再掲】	・みなとみらい2050プロジェクトの推進 ・みなとみらい21地区中央地区の公共空間への緑化推進	・5つの公民連携のプロジェクトチームで推進 ・みなとみらい4号線の緑化推進
46	③ 横浜スマートシティプロジェクトの推進 【地球温暖化対策に再掲】	・HEMSの導入促進	・全区で「市民との意見交換会」開催(88名参加) ・動画コンテンツ「おうちde省エネ」でHEMSを普及啓発
46	④ 都心臨海部の緑花による賑わいづくり 【水とみどりに再掲】	・推進	・都心臨海部の緑花4か所 ・緑花の維持管理4か所

(2) コンパクトで活力のある郊外部のまちづくり

47	① 鉄道駅周辺の拠点整備	・拠点整備	完了3地区、事業8地区《4か年》	・6地区事業中
		・緑化の推進		・緑化推進
47	② 地域まちづくりの誘導・推進	・地域まちづくりの件数	40件《4か年》	・13件(累計24件)
47	③ 人口減少を踏まえた住環境などの充実	・「持続可能な住宅モデルプロジェクト」推進		・4地区で推進
		・土地誘導手法などの検討・推進		・「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」、「都市再開発の方針」等の市素案(案)作成

(3) つながりの海(まちづくりと連携した海づくり)

48	① 京浜臨海部の海づくり 【生物多様性に再掲】	・推進		・平成25年度設置の人工干潟流出で、干潟設置が困難であることがわかった
48	② 都心臨海部の海づくり 【生物多様性に再掲】	・推進		・山下公園前海域で民間企業と共同研究実施 ・自動車道護岸水域の藻場形成取組で、アマモ植え付け箇所数増加
48	③ 金沢区野島海岸周辺の海づくり 【生物多様性に再掲】	・推進		・市民活動団体と協働した体験プログラムの実施(423人参加) ・野島青少年研修センターの自然体験プログラム提供(6,675人参加)
48	④ 金沢区白帆地区の海づくり 【生物多様性に再掲】	・推進		・アマモの播種、花枝採取、自然学習イベント実施
48	⑤ 横浜ブルーカーボン事業の推進	・推進		・カーボン・オフセットの社会実験を実施 ・事業の広報や、環境啓発イベント開催

(4) 人やモノが移動しやすく環境にやさしい交通・物流体系の形成

49	① 交通ネットワークの整備による環境負荷低減	・神奈川東部方面線の整備推進		・「西谷～羽沢間(相鉄・JR直通線)」の工事推進 ・「羽沢～日吉間(相鉄・東急直通線)」全区間で土木工事に着手
		・交通政策審議会答申路線の事業化検討		・高速鉄道3号線の延伸の事業化に向けた基礎的な調査 ・横浜環状鉄道等の事業性検討
		・関内駅北口および周辺整備事業の完了		・駅舎改良工事における基礎工事が概ね完了
		・横浜環状道路等の整備推進		・横浜環状道路の整備推進 ・幹線道路5.02km整備 ・地域道路163m整備
49	② モビリティマネジメントの推進 【地球温暖化対策に再掲】	・実施目標	12件《4か年》	・小学校4校でのモビリティマネジメント出前授業開催 ・区別バスマップ更新(5区) ・小学生ポスターコンクール開催 ・学生と連携した公共交通の利用促進を実施

「環境管理計画」 平成27年度取組状況一覧

■環境とまちづくり

(4) 人やモノが移動しやすく環境にやさしい交通・物流体系の形成

頁	主な取組	目標	27年度の取組実績
49	③ 地域交通サポートの推進 【地球温暖化対策に再掲】	・地域交通サポートの取組支援	28地区《累計》 ・実証運行地区:3地区 ・取組支援地区:24地区
49	④ 徒歩や自転車による快適で楽しい交通環境の整備【地球温暖化対策に再掲】	・バリアフリー化整備延長	8.0km《4か年》 ・2.2km(累計5.6km)
		・横浜都心部コミュニティサイクル事業推進	・自転車の貸出・返却拠点を5箇所増設(全44か所) ・広報等の普及に向けた取組により登録者数12,791人増加(全38,879人)
		・自転車レーンの整備	8.0km《4か年》 ・1.72km(累計5.65km)
50	⑤ 次世代自動車(FCV等)の普及促進 【環境とまちづくり、地球温暖化対策に再掲】	・FCVの普及台数 ・水素ステーションの整備数	200台《4か年》 10か所《4か年》 ・FCV導入補助実施(10台) ・固定式水素ステーション補助実施(1か所)
50	⑥ 超小型モビリティなど次世代交通の推進 【地球温暖化対策に再掲】	・推進	・チョイモビヨコハマ実証実験 ・EVスマートワンウェイカーシェアリング(smaco)、EV、PHV用充電器の大規模設置のサポート実施
50	⑦ 横浜港の低炭素化 【地球温暖化対策に再掲】	・荷役機械や船舶からのCO ₂ 排出削減推進	・推進
		・グリーン経営認証の取得支援	40社《4か年》 ・グリーン経営認証の取得補助(10社)
		・グリーン物流の推進	・推進
		・トラック輸送の円滑化推進	・ITSを活用した物流の円滑化策の検討実施
		・臨港道路網の整備推進	・国道357号本牧出口ランプ開通 ・南本牧ふ頭連絡臨港道路整備推進
		・省エネ、節電の推進	・推進
		・港のスマート化推進	・自立型水素燃料電池システム(東芝製H ₂ One)を発注(官公庁初)、横浜港流通センターへ実証導入 ・横浜港のエネルギーマネジメント検討 ・横浜港埠頭(株)の太陽光発電の売電先を新電力へ変更 ・大さん橋基部を移動式水素ステーション用地貸借を実施
・民間事業者への啓発等推進	・東京湾大感謝祭等のイベントで民間事業者と行う取組紹介、PR実施		

(5) 環境に配慮した建築物の普及

51	① 環境配慮型建築物の推進 【地球温暖化対策に再掲】	・推進	・セミナー講習会等:5回 ・長期優良住宅認定申請件数:2211件 ・低炭素建築物認定申請件数:74件
51	② 住まいのエコリノベーションの推進 【環境と経済、地球温暖化対策に再掲】	・住まいの横浜型省エネ改修モデルの構築・推進	・28件(戸建住宅18件、共同住宅等10件)実施 ・「よこはまエコリノベーション・アカデミー」開催
51	③ 公共建築物の省エネ化の推進 【地球温暖化対策に再掲】	・省エネ改修の推進	・ESCO事業公募数:1事業(1施設) ・省エネルギー改修施設数:15施設
		・木材利用の促進	・建築実務者を対象とした研修会、市民への啓発活動を実施 ・南区総合庁舎木質化整備工事を実施
51	④ 民有地における緑化の助成 【水とみどりに再掲】	・緑化の助成	65件(2014-2018年度) ・5件(累計10件)

(6) 多様なニーズに対応できる快適な公園の整備

52	① 魅力ある公園の新設・再整備	・新設・再整備公園数	延べ320か所《4か年》 ・74か所(累計131か所)
52	② 土地利用転換に対応した大規模な公園の整備	・鶴見花月園公園の整備着手	・基本設計を実施し、地元説明会を実施 ・既存建築物の取壊工事着手
		・舞岡町公園の整備着手	・基本設計を実施
		・小柴貯油施設跡地公園の整備着手	・基本設計を実施 ・自然環境調査を実施(環境影響評価手続)
52	③ 都心臨海部の緑花による賑わいづくり 【環境とまちづくり、水とみどりに再掲】	・推進	・都心臨海部の緑花4か所 ・緑花の維持管理4か所

(7) 安心して生活するための下水道・河川の浸水対策

52	① 下水道の整備	・時間当たり約50mmの降雨における雨水幹線等の整備率	66.4%	・65.9%
		・時間当たり約60mmの降雨における雨水幹線等の整備率	63.1%	・62.5%
52	② 浸水予測情報の周知	・内水ハザードマップの作成・公表(北部方面)	・内水ハザードマップ(北部方面)の各区配布の開始 ・防災講演会、出前講座における講師実施	
52	③ 河川の整備	・河川改修による想定氾濫区域面積の削減(約50mm/h)	540ha	・推進

「環境管理計画」 平成27年度取組状況一覧

■地球温暖化対策

(1) 低炭素なまちづくりに向けたエネルギーマネジメントの推進

頁	主な取組	目標	27年度の取組実績
56	① 横浜スマートシティプロジェクトの推進 【環境とまちづくり再掲】	・HEMSの導入促進	・全区で「市民との意見交換会」開催(88名参加) ・動画コンテンツ「おうちde省エネ」でHEMSを普及啓発
56	② みなとみらい2050プロジェクトの推進 【環境とまちづくり、生物多様性に再掲】	・みなとみらい2050プロジェクトの推進	・5つの公民連携のプロジェクトチームで推進
56	③ 横浜グリーンバレーの推進 【環境と経済に再掲】	・エネルギーグリッドの構築 ・産業団地の見える化	・エネルギー融通等モデル事業計画策定調査実施 ・エネルギーマネジメントシステムへの参加事業所を募集
57	④ 横浜港の低炭素化 【環境とまちづくり再掲】	・トラック輸送の円滑化推進	・ITSを活用した物流の円滑化策の検討実施
		・港のスマート化推進	・自立型水素燃料電池システム(東芝製H ₂ One)を発注(官公庁初)、横浜港流通センターへ実証導入 ・横浜港のエネルギーマネジメント検討 ・横浜港埠頭(株)の太陽光発電の売電先を新電力へ変更 ・大さん橋基部を移動式水素ステーション用地貸借を実施
57	⑤ 水素エネルギーの活用検討	・検討	・公民連携による下水バイオガス利活用の研究 ・横浜港のスマート化推進 (自立型水素エネルギー供給システム導入) ・公民連携によるCO ₂ フリー水素サプライチェーン構築の実証実験

(2) 住宅・建築物の温暖化対策の促進

57	① 住宅用スマートエネルギー設備の普及促進 【再掲】	・HEMSなどの導入件数	6000件《4か年》	・401件(累計542件)
57	② 環境配慮型建築物の推進 【再掲】	・推進		・セミナー講習会等:5回 ・長期優良住宅認定申請件数:2211件 ・低炭素建築物認定申請件数:74件
57	③ 住まいのエコリノベーションの推進 【再掲】	・住まいの横浜型省エネ改修モデルの構築・推進		・28件(戸建住宅18件、共同住宅等10件)実施 ・「よこはまエコリノベーション・アカデミー」開催
57	④ 公共建築物の省エネ化の推進 【再掲】	・省エネ改修の推進		・ESCO事業公募数:1事業(1施設) ・省エネルギー改修施設数:15施設
		・木材利用の促進		・建築実務者を対象とした研修会、市民への啓発活動を実施 ・南区総合庁舎木質化整備工事を実施

(3) 公共施設における未利用エネルギー等のさらなる活用検討・導入

58	① 下水道施設及びごみ焼却施設における再エネ・未利用エネの活用	・消化ガス発電の推進		・消化ガス発電使用実績:19,580,268 Nm ³
		・汚泥燃料化の推進		・南部汚泥資源化センター下水汚泥燃料化事業を推進
		・神奈川水再生センターなどでの太陽光発電事業		・売電実績 神奈川水再生センター:1,047,951kWh(4月～3月) 西部水再生センター:323,275kWh(12月～3月)
		・余剰電力の売却によるCO ₂ の排出削減		・CO ₂ 削減量:約9.6万tCO ₂
58	② 生ごみ等の減量化・資源化推進事業【再掲】	・生ごみ等のバイオガス化の実現可能性を検討		・バイオガス化の費用対効果について試算
58	③ 使用済食用油のバイオディーゼル燃料の活用	・重油及び軽油の代替使用	640kL《4か年》	・151kL(累計304kL)
58	④ 水道施設における再生可能エネルギーの推進	・小水力、太陽光発電の設置	504kW(2014-2015年度)	・37kW(恩田配水池小水力発電設備設置)(累計469kW)
58	⑤ 特別避難所への再生可能エネルギーの導入	・公設施設への導入	35施設(2014-2015年度)	・27施設(累計35施設)
58	⑥ 横浜市風力発電所(ハマウイング)の活用	・発電量	800万kWh《4か年》	・180万kWh(累計397万kWh)
		・見学者数	6500人《4か年》	・716人(累計1,292人)

「環境管理計画」 平成27年度取組状況一覧

■地球温暖化対策

(4) 低炭素交通の普及促進

頁	主な取組	目標		27年度の取組実績
60	① 次世代自動車(FCV等)の普及促進 【環境と経済、環境とまちづくりに再掲】	・FCVの普及台数 ・水素ステーションの整備数	200台《4か年》 10か所《4か年》	・FCV導入補助実施(10台) ・固定式水素ステーション補助実施(1か所)
60	② 超小型モビリティなど次世代交通の推進 【環境とまちづくりに再掲】	・推進		・チョイモビヨコハマ実証実験 ・EVスマートワンウェイカーシェアリング(smaco)、EV、PHV用充電器の大規模設置のサポート実施
60	③ 自転車や公共交通への利用転換の促進 【環境とまちづくりに再掲】	・横浜都心部コミュニティサイクル事業推進		・自転車の貸出・返却拠点を5箇所増設(全44か所) ・広報等の普及に向けた取組により登録者数12,791人増加(全38,879人)
		・実施目標	12件《4か年》	・小学校4校でのモビリティマネジメント出前授業開催 ・区別バスマップ更新(5区) ・小学生ポスターコンクール開催 ・学生と連携した公共交通の利用促進を実施
		・地域交通サポートの取組支援	28地区《累計》	・実証運行地区:3地区 ・取組支援地区:24地区
60	④ 横浜港の低炭素化 【環境とまちづくりに再掲】	・荷役機械や船舶からのCO ₂ 排出削減推進		・推進
		・グリーン経営認証の取得支援	40社《4か年》	・グリーン経営認証の取得補助(10社)
		・グリーン物流の推進		・推進
		・トラック輸送の円滑化推進		・ITSを活用した物流の円滑化策の検討実施
		・臨港道路網の整備推進		・国道357号本牧出口ランプ開通 ・南本牧ふ頭連絡臨港道路整備推進

(5) 温室効果ガス削減に有効な制度や仕組みの構築

62	① 地球温暖化対策計画書制度の着実な運用	・制度の着実な運用		・「横浜市地球温暖化対策計画書制度」に基づき、報告書(313件)と計画書(11件)の評価・公表を行った。 ・温室効果ガスの排出の抑制に関する指針を改正し、計画書制度の見直しを行った。
62	② 公共施設のエネルギー管理	・「横浜市地球温暖化対策実行計画(市役所編)」の目標達成		・エネルギーカルテシステムの活用による全庁的な啓発実施 ・「横浜市地球温暖化対策実行計画(市役所編)」の進捗管理 ・エネルギーカルテシステムの機能拡充など、各施設における自主的な省エネの取組を支援
62	③ 横浜市環境マネジメントシステムの推進 【環境と人・地域社会に再掲】	・推進		・環境行動目標の策定 ・総合環境研修、内部監査の実施
62	④ 環境配慮型建築物の推進 【環境とまちづくりに再掲】	・推進		・セミナー講習会等:5回 ・長期優良住宅認定申請件数:2211件 ・低炭素建築物認定申請件数:74件
62	⑤ 再生可能エネルギー導入検討報告制度の運用	・制度の着実な運用 ・制度の拡充を検討		・導入検討報告実績98件 ・国の動向等を踏まえ、導入検討を行う対象設備の拡大及び普及推進の方策検討
62	⑥ 環境分野における市内中小企業の成長支援 【環境と経済に再掲】	・推進		・推進
62	⑦ 国内外の都市との低炭素連携の推進 【環境と経済に再掲】	・九都県市間の情報交換 ・地域間の連携		・九都県市との情報交換及び九都県市の連携による普及啓発活動の展開 ・北海道下川町との連携
		・海外都市との連携		・COP21に向けた都市間会合「Our Cities, Our Climate」に日本で唯一招へい ・OECD「高齢社会における持続可能な都市政策」プロジェクトのケーススタディ都市に選定 ・JICAによる、「バンコク都気候変動マスタープラン(2013-2023年)策定・実施能力向上プロジェクト」に参画

(6) 市民のライフスタイル変革に向けた「エコ活。」普及

63	① ヨコハマ・エコ・スクール(YES)の展開 【環境と人・地域社会に再掲】	・YESの講座開催(認定)	250回/年	・395回/年、参加者数約36270人
63	② 「エコ活。」の推進 【環境と人・地域社会に再掲】	・参加児童数	32000人/年	・37595人/年
		・エネルギーやCO ₂ の見える化の推進		・市ホームページを利用した環境家計簿の普及啓発

「環境管理計画」平成27年度取組状況一覧

■生物多様性

(1) 普及啓発

頁	主な取組	目標		27年度の取組実績
69	① 環境行動の実践に向けた広報・啓発【環境と人・地域社会に再掲】	・毎年実施		・知ろう！伝えよう！生きもののつながりキャンペーン2015の開催
69	② 生物多様性でYES！【環境と人・地域社会に再掲】	・参加者数	10500人/年	・8895人/年
69	③ 環境教育に携わる指導者への支援	・推進		・新規講師向けにスキルアップ研修実施
69	④ 動物園等における環境教育【環境と人・地域社会に再掲】	・環境教育事業数	330件	・374件/年
69	⑤ 生物多様性に配慮した消費行動	・推進		・イベントを活用した啓発実施
69	⑥ 「横浜つながりの森」におけるエコツーリズム【環境と人・地域社会、環境と経済に再掲】	・推進		・各主要施設におけるPR ・ハイキングルートのルール・マナー検討
69	⑦ 体験フィールドの活性化～横浜の森プロモーション～	・推進		・区や動物園と連携したPR ・地域情報紙等を活用した広報を展開
69	⑧ 市民の守りたい、伝えたい谷戸環境の広報	・推進		・市ホームページを利用した谷戸環境のPR
69	⑨ 庁内横断による谷戸環境の積極的活用	・推進		・市ホームページを利用した谷戸環境のPR
69	⑩ 活動団体への支援【環境と人・地域社会に再掲】	・推進		・1団体、76千円の助成金交付 ・17個人・団体・企業の横浜環境活動賞表彰
70	⑪ 多岐にわたる分野とのコラボレーションの推進【環境と人・地域社会に再掲】	・推進		・スポーツチームと協力した環境活動に関する普及啓発 ・他分野が行うイベント等の後援等
70	⑫ 連携・交流のプラットフォームづくり【環境と人・地域社会に再掲】	・推進		・業務研究・改善事例発表会にて周知
70	⑬ 森を支えている活動団体のつながりの強化	・研修など交流の場の提供		・ハイキングコース利用にあたってのルール・マナー検討
70	⑭ 「横浜つながりの森」の調整機能の充実・体制の強化を推進	・推進		・「横浜つながりの森」のホームページで各施設の情報を一元化
70	⑮ 外来種に関する普及啓発	・推進		・市施設公開で剥製やパネル、リーフレットによる啓発を実施 ・職員向けに外来生物に関する啓発を実施

(2) 保全・再生・創造

70	① 瀬上池の生物多様性を守る～瀬上池の未来づくり～	・推進		・「瀬上市民の森保全管理計画(瀬上池集水域)」策定 ・外来種の駆除のため瀬上池のかいぼりを実施 ・瀬上池の浚渫や沈砂池の整備(環境改善整備工事実施)
70	② 生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上【水とみどりに再掲】	・法面の整備	8か所《4か年》	・3か所完了、2か所整備中
70	③ 横浜に生息する生き物体験施設の整備	・推進		・「日本の森」ゾーンの実施設設計のための測量実施
70	④ アライグマ・タイワンリスによる被害への対策	・推進		・アライグマ捕獲数:285頭 ・タイワンリス捕獲数:170頭 ・捕獲檻の補充:アライグマ用17台
70	⑤ 旧小柴貯油施設跡地の公園活用	・工事・着手		・基本設計を実施 ・自然環境調査を実施(環境影響評価手続)
70	⑥ 多様な生き物を育む場づくり(アユが遡上する川づくり)【水とみどりに再掲】	・帷子川モデルプランの策定		・「アユが遡上する帷子川アクションプラン」策定
71	⑦ 指定・登録文化財の保護育成	・推進		・国指定天然記念物ミヤコタナゴ保護増殖事業及び生息環境調査事業実施 ・ゲンジボタル生息地の環境整備実施
71	⑧ 国際的な希少動物の保全の取組と国際貢献	・推進		・カンムリシロムク保護事業(インドネシアとの共同事業)実施 ・インドネシアへカンムリシロムク20羽を送致
71	⑨ 横浜市及び国内に生息する希少動物の保全の取組	・推進		・市内産カエル2種の飼育繁殖技術研究 ・スパールバルライチョウ飼育繁殖技術の共同研究 ・ニホンライチョウ生息調査 ・ミゾゴイ2羽の繁殖成功(日本初)
71	⑩ 希少動物の保全に関する研究の推進	・繁殖センターが行う研究件数	40件	・71件
71	⑪ 身近な動物・傷病鳥獣に関する啓発の推進	・講座回数	20回《4か年》	・3回(累計6回)

「環境管理計画」 平成27年度取組状況一覧

■ 生物多様性			
(3) しきみづくり			
頁	主な取組	目標	27年度の取組実績
71	① 生物調査データの一元化(データベース化)と活用	・データバンクの整備・活用	・生物調査データの更新、一部公開 ・産学官の連携による検討、意見交換
71	② 市民参加の生き物調査の推進	・市内全域で実施	・約170校、12,000名超の児童参加による調査実施
71	③ 生物生息状況モニタリング調査【生活環境に再掲】	・継続実施	・境川流域3カ所で陸域生物調査実施 ・河川生物相調査の夏季調査実施
71	④ 地域特性に応じた保全等の検討	・検討	・産学民官連携による研究会による生物多様性手法検討
(4) まちづくりと経済活動			
72	① エキサイトよこはま22における環境取組の推進【環境とまちづくりに再掲】	・推進	・まちづくりガイドラインを改定しCO ₂ 排出原単位を見直し ・東口再開発予定地区におけるエネルギーの面的利用に関する検討実施
72	② みなとみらい2050プロジェクトの推進【環境とまちづくり、地球温暖化対策に再掲】	・みなとみらい2050プロジェクトの推進	・5つの公民連携のプロジェクトチームで推進
72	③ みなとみらい21中央地区の公共空間への緑化推進【環境とまちづくりに再掲】	・みなとみらい21地区中央地区の公共空間への緑化推進	・みなとみらい4号線の緑化推進
72	④ 京浜臨海部の海づくり【環境とまちづくりに再掲】	・推進	・平成25年度設置の人工干潟流出で、干潟設置が困難であることがわかった
72	⑤ 都心臨海部の海づくり【環境とまちづくりに再掲】	・推進	・山下公園前海域で民間企業と共同研究実施 ・自動車道護岸水域の藻場形成取組で、アマモ植え付け箇所数増加
72	⑥ 金沢区野鳥海岸周辺の海づくり【環境とまちづくりに再掲】	・推進	・市民活動団体と協働した体験プログラムの実施(423人参加) ・野鳥青少年研修センターの自然体験プログラム提供(6,675人参加)
72	⑦ 金沢区白帆地区の海づくり【環境とまちづくりに再掲】	・推進	・アマモの播種、花枝採取、自然学習イベント実施
72	⑧ 企業の環境行動の広報【環境と人・地域社会に再掲】	・推進	・横浜環境活動賞で8企業を表彰 ・受賞企業の取組の広報実施

「環境管理計画」平成27年度取組状況一覧

■水とみどり

(1) 市民とともに次世代につなぐ森を育む

頁	主な取組	目標		27年度の取組実績
76	① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	・緑地保全制度による指定	新規400ha《4か年》	・102.5ha(累計204.2ha)
76	② 森づくりガイドライン等を活用した森の育成	・ガイドライン等を活用した維持管理の推進 ・保全管理計画の策定	植林地 12か所《4か年》 公園 8か所《4か年》	・森づくりガイドライン等を活用した維持管理 樹林地:121か所、公園:14か所 ・3か所(累計6か所) ・3か所(累計6か所)
76	③ 指定された樹林地における維持管理の支援	・維持管理の支援	650件(2014-2018年度)	・103件
76	④ 生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上【生物多様性に再掲】	・法面の整備	8か所《4か年》	・3か所完了、2か所整備中
77	⑤ 森の楽しみづくり	・イベント実施及び広報活動	144回《4か年》	132回(※91回)(累計239回) ※間伐材を利用したクラフト教室等実施数(内数)

(2) 市民が実感できる緑をつくる

77	① 民有地における緑化の助成【環境とまちづくりに再掲】	・緑化の助成	65件(2014-2018年度)	・5件(累計10件)
77	② 公共施設・公有地での緑の創出・管理	・緑化の創出	58件(2014-2018年度)	・南区、金沢区の市民利用施設を新たに緑化(22か所) ・「横浜みどりアップ計画」により創出した緑の維持管理
77	③ 公有地化によるシンボリックな緑の創出	・緑化の創出	5件(2014-2018年度)	・シンボリックな緑の創出予定地(1か所)において既存建物の解体設計を実施
77	④ いきいきとした街路樹づくり	・18区で推進		・18区で推進 ・計画的なせん定等実施
77	⑤ 地域緑のまちづくり	・46地区で推進(2014-2018年度)		・4地区(累計26地区)
77	⑥ 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出	・緑の創出	100か所(2014-2018年度)	・校庭・園庭の芝生化、ビオトープ、花壇、樹木による植栽等の多様な緑創出:32か所(累計82か所) ・芝生の維持管理についての技術講習会や専門家による訪問指導実施
77	⑦ 都心臨海部の緑花による賑わいづくり【環境とまちづくりに再掲】	・推進		・都心臨海部の緑花4か所 ・緑花の維持管理4か所

(3) 効果的な広報の展開

77	① 市民の理解を広げる広報の展開	・効果的な広報の展開		・広報よこはま、リーフレット、イベントほか、マスコットキャラクターの活用など様々な媒体、手法を用いたPR実施
----	------------------	------------	--	--

(4) 水循環の再生

78	① 宅地等における雨水浸透、貯留の推進	・雨水貯留タンク設置への助成	300個/年	・205個
		・宅内雨水浸透ます設置への助成	50個/年	・19個
78	② 公共施設における雨水浸透の推進	・道路への雨水浸透ますの設置	1,000個/年	・204個設置
78	③ 透水性舗装の展開【生活環境に再掲】	・透水性舗装の実施	16,000m ² 《4か年》	・22,998m ² (累計47,587m ²)

(5) 多自然川づくりの推進

78	① 多自然川づくり	・推進		・多自然型落差工の整備推進
78	② 水辺拠点の整備	・水辺拠点の整備	3か所《4か年》	・1か所(累計2か所)
78	③ 多様な生き物を育む場づくり(アユが遡上する川づくり)【生物多様性に再掲】	・帷子川モデルプランの策定		・「アユが遡上する帷子川アクションプラン」策定

「環境管理計画」平成27年度取組状況一覧

食と農

(1) 持続できる都市農業の推進

頁	主な取組	目標		27年度の取組実績
82	① 農業生産基盤・設備の整備・改修	・生産環境の整備	72地区《4か年》	・14地区(累計29地区)
82	② 経営改善や規模拡大に寄与する営農支援	・経営改善支援	70件《4か年》	・9件(累計21件)
82	③ 横浜型担い手の認定・支援	・担い手に対する支援	20件《4か年》	・4件(累計5件)
82	④ 農地の貸し借りに関する調整	・貸借面積	12ha《4か年》	・118ha
82	⑤ 6次産業化など付加価値を高める取組の推進【環境と経済に再掲】	・生産設備等支援	30件《4か年》	・5件支援
82	⑥ 先進的な栽培技術の活用による生産振興	・先進栽培技術に対する支援	30件《4か年》	・2件(累計3件)
82	⑦ 効率的な農業経営のための農地の集約化	・農地マッチング	7.0ha《4か年》	・3.2ha(累計4.6ha)

(2) 市民が身近に農を感じる場をつくる

83	① 水田の保全	・水田の保全承認	123ha《4か年》	・総計120.1ha
		・水源の確保	8か所《4か年》	・1か所(累計2地区)
83	② 農景観を良好に維持する取組の支援	・良好に維持されている農地の面積	680ha《4か年》	・累計718ha
		・水路機能の維持	4地区《4か年》	・2地区(累計3地区)
		・土砂流出対策	4か所/年《4か年》	・10か所
83	③ 多様な主体による農地の利用促進	・長期貸付農地の確保	78ha	・10.6ha(累計77.0ha)
83	④ 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設	・市民農園の開設	4.8ha	・2.2ha
		・収穫体験農園の開設	10.0ha	・1.0ha
		・農園付公園の整備	6.7ha	・1.4ha
83	⑤ 市民が農を楽しむ支援する取組の推進	・横浜ふるさと村、恵みの里で農体験教室などの実施	400回《4か年》	・89回
		・農ある横浜、あぐりツアーの開催	16回《4か年》	・3回
		・農のある地域づくり協定の新規締結	3件《4か年》	・2件
		・家族で学ぶ農体験講座の開催	20回《4か年》	・5回
83	⑥ 地産地消にふれる機会の拡大	・直売所の支援	42件《4か年》	・11件(累計15件)
		・青空市運営支援	20件《4か年》	・5件(累計9件)
83	⑦ 市民や企業等との連携(地産地消の推進)【環境と経済に再掲】	・企業等との連携	50件	・8件(累計20件)

「環境管理計画」 平成27年度取組状況一覧

■資源循環

(1) 一般廃棄物に関する取組

頁	主な取組	目標	27年度の取組実績
88	① 3R行動の実践に向けた広報・啓発	・説明会・イベント・工場見学等啓発 5,500回《4か年》	・1,318回(累計2,624回)
88	② 生ごみ等の減量化・資源化推進事業【地球温暖化対策に再掲】	・生ごみ等のバイオガス化の実現可能性を検討	・バイオガス化の費用対効果について試算
88	③ 事業者による減量化と分別徹底	・立入調査等(大規模・中小事業所) 8000件《4か年》	・2,966件(累計6,066件)
88	④ ぬくもりのある街横浜事業	・高齢者等のごみ出し支援のニーズに着実に対応	・市民ニーズに着実に対応(ふれあい収集5,507世帯、狭あい道路収集38,166世帯、粗大ごみ持ち出し収集8,319件)
88	⑤ 焼却工場の長寿命化等の適切な施設管理	・都筑工場長寿命化工事完了 完了	・3号炉の長寿命化工事完了 ・中央監視制御装置を更新 ・ごみ及び灰クレーンの制御装置補修工事実施
88	⑥ 最終処分場の整備とごみ焼却灰の資源化など処分場の延命化	・南本牧ふ頭第5ブロック最終処分場整備完了 完了	・海底地盤の地盤改良、遮水護岸の基礎工事及び据付、しゅんせつ等を実施 ・廃棄物の最終処分を継続するため、第2ブロック処分場の延命化対策を実施

(2) 産業廃棄物に関する取組

91	① 循環型社会を目指した取組の推進	・多量排出事業者等への自主管理計画の策定指導の推進 ・公共事業等における再生利用の推進	・多量排出事業者等への自主管理計画策定指導を実施 ・県外の排出事業者の廃棄物の減量化、資源化等の取組事例を収集 ・建設廃棄物の自ら利用に係る指導要綱に基づく指導を実施
91	② 安全で信頼できる環境負荷の少ない廃棄物処理の推進	・アスベスト、PCBなど産業廃棄物の適正処理指導の徹底の推進 ・不法投棄、不適正処理の未然防止のため監視体制の強化の推進 ・災害等の廃棄物処理体制の整備	・立入調査等実施 ・関係部署連携による不適正処理への迅速対応を実施 ・災害時の土地利用について関係部署と協議を実施 ・解体廃棄物の処理に関する取組事項の整理
91	③ 市民、排出事業者、処理業者、行政の協働・連携強化	・市民向け啓発活動の実施	・区民まつりなどのイベントで市民向けリーフレット「さんばいってなーに」配布

■生活環境

(1) 大気環境の保全

頁	主な取組	目標	27年度の取組実績
94	① 二酸化窒素・浮遊粒子状物質対策	・FCV、九都県市指定低公害車の普及促進 ・エコドライブ講習会の開催	・FCV等普及啓発イベント開催:34回 ・エコドライブ講習会開催:3回 ・エコドライブシミュレーター体験会:9回
94	② 微小粒子状物質(PM2.5)対策	・常時監視の実施 ・発生源に関する実態把握の実施	・自動測定機を用いた常時監視実施(市内20測定局) ・成分分析実施(市内5地点、年4回) ・発生源に関する実態把握実施
94	③ 光化学オキシダント対策	・立入調査、測定の実施 ・VOC排出量調査の実施 ・周辺自治体との連携	・立入・測定実施件数:7件 ・VOC排出量調査実施 ・VOCに関する大気汚染防止法の届出:2件 ・九都県市などと共同で、夏季のVOC対策啓発活動実施
94	④ 悪臭対策	・立入調査の実施 ・都市、生活型の臭気測定	・苦情に基づき発生源立入調査実施:344件 ・悪臭物質及び臭気の測定実施
94	⑤ 低炭素交通の普及促進【地球温暖化対策に再掲】	・推進	・推進

(2) 水環境の保全

97	① 工場・事業場等への規制指導	・届出指導、立入調査の実施	・水質汚濁防止法、ダイオキシン類対策特別措置法、市条例に基づく届出指導件数:651件 ・立入調査件数:延べ624件 ・水質汚濁防止法の改正への対応、市条例の規則改正
97	② 東京湾流域自治体との連携	・「東京湾環境一斉調査」などの実施	・悪天候のため東京湾水質一斉調査中止(各機関が任意で調査した結果を取りまとめ) ・東京湾岸自治体会議のポイント事業として「東京湾大感謝祭2015」にブース出展、啓発活動実施
97	③ 下水道の取組	・高度処理の導入 4水再生センター《4か年》 ・合流式下水道の吐口における下水流出抑制対策等の推進	・北部第二水再生センターの2系列工事完了 ・高度処理水量:262,703,000m ³ (27年度) ・推進
97	④ 赤潮モニタリングの実施	・モニタリングの実施	・公共用水域の水質測定計画の測定地点(海域7地点)で赤潮モニタリング実施(通年) ・鶴見航路においてモニタリング実施(通年)
97	⑤ 多自然川づくりの推進【水とみどりに再掲】	・推進	・推進
97	④ つながりの海(まちづくりと連携した海づくり)【環境とまちづくりに再掲】	・推進	・推進
97	⑦ 市民参加型等による生物多様性の取組【環境と人・地域社会、生物多様性に再掲】	・水辺愛護会の活動距離 60.198m ・継続実施	・59,418m(累計) ・境川流域3カ所で陸域生物調査実施 ・河川生物相調査の夏季調査実施

「環境管理計画」 平成27年度取組状況一覧

■生活環境			
(3) 地盤環境の保全			
頁	主な取組	目標	27年度の取組実績
99	① 地盤沈下対策	・届出指導、立入調査の実施 ・環境測定の実施	・新設揚水施設(許可:2件、小規模届出:8件)、 ・その他揚水施設届出等258件、掘削工事届出:37件、 ・精密水準測量:測量延長189km(地理院52km含)、調査数174点 ・最大沈下量:12.1mm(保土ヶ谷区)
99	② 土壌汚染対策	・土壌汚染のある土地の適切な管理を推進 ・届出指導、立入調査の実施	・土壌汚染対策法届出、指導:298件 ・市条例届出、指導:160件 ・立入調査(法・条例):42件
99	③ 地下水の水質汚濁対策	・届出指導、立入調査の実施 ・常時監視の実施	・市条例(地下水汚染)届出件数:14件 ・水質汚濁防止法の改正に伴う届出件数:43件 ・市内井戸の常時監視:104件 ・地下水汚染追跡井戸:47件 ・メッシュ調査:25件 ・定点調査:6件 ・継続監視調査:28件 ・汚染井戸周辺地区調査:29件 ・汚染井戸監視調査:16件
99	④ 水循環の再生【水とみどりに再掲】	・推進	・推進
(4) 化学物質対策の推進			
101	① 化学物質対策	・PRTR届出指導の徹底 ・講座開催、イベント出展	・PRTR届出件数:420件 ・講座開催、イベント出展等:12回
101	② 有害化学物質対策	・届出指導、立入調査の実施 ・環境測定の実施	・地下水汚染:原因究明調査を実施1地区 ・市内5地点で、有害大気汚染物質採取分析調査を年12回実施
101	③ ダイオキシン類対策	・届出指導、立入調査の実施 ・環境測定の実施	・ダイオキシン類対策特別措置法の届出受付(8件) ・ダイオキシン類を排出する廃棄物焼却炉等の立入調査実施(大気9件、水質13件) ・大気環境測定実施(6地点、年4回) ・河川・地下水環境測定実施(各6地点、年1回) ・土壌環境測定実施(10地点)
101	④ アスベスト対策	・立入調査の実施 ・環境測定の実施	・立入調査件数16件 ・石綿排作出作業現場でアスベストの測定調査実施 ・年度取りまとめ資料の作成
(5) 騒音・振動対策の推進			
103	① 工場・事業場の騒音・振動対策	・届出指導、立入調査 ・騒音低減のための普及啓発 ・都市、生活型の騒音測定	・届出件数:603件、立入調査実施5件 ・未然防止のため業界団体に対し普及啓発を実施 ・苦情対応実施(騒音193件、振動20件)
103	② 建設作業の騒音・振動対策	・立入調査の実施 ・騒音・振動低減のための普及啓発	・立入調査実施:20件 ・未然防止のため建設・解体工事業界団体に普及啓発を実施 ・苦情対応実施(騒音145件、振動93件)
103	③ 生活騒音対策	・生活騒音に係る相談対応	・生活騒音の相談者にリーフレット配布、騒音計の貸出、解決に向けたアドバイス等の側面的な支援を実施
103	④ 道路及び鉄道交通騒音対策	・常時監視の実施 ・地域特性を考慮した騒音対策	・交通騒音の常時監視(32地点) ・道路端の住居等における騒音レベル評価(市内14路線) ・新幹線騒音・振動の常時監視(24地点) ・鉄道や高速道路に近接して集合住宅を建設しようとする事業者への防音対策指導(38件) ・市民からの騒音振動苦情対応(37件)
103	⑤ 航空機騒音対策	・常時監視の実施	・市内3か所で常時監視 ・市民からの騒音苦情対応(47件)
(6) ヒートアイランド対策の推進			
107	① 定点的な観測	・推進	・43地点で気温観測し市域の気温分布図を作成 ・神奈川県・川崎市と共に県域の気温分布図を作成
107	② 研究解明に向けた取組	・推進	・熱環境調査を実施
107	③ 普及啓発	・推進	・推進
107	④ 熱中症対策(ヒートアイランド現象適応策)	・熱中症システムの本格運用	・18区で暑さ指数を観測した結果、環境省が提供する熱中症予防情報(暑さ指数)とほぼ同様の傾向を示すことがわかった
107	⑤ すず風舗装による道路整備	・すず風舗装の実施	10,000m ² 《4か年》 ・3,893m ² (累計6,844m ²)
107	⑥ 透水性舗装の展開【水とみどりに再掲】	・透水性舗装の実施	16,000m ² 《4か年》 ・22,998m ² (累計47,587m ²)
107	⑦ 都心部におけるエコまちづくりの推進【環境とまちづくりに再掲】	・推進	・推進
107	⑧ 市民が実感できる緑をつくる【水とみどりに再掲】	・推進	・推進